

## 第2回とりアートオペラ公演企画委員会報告

日時 平成26年8月8日(金) 19:00~21:00

会場 倉吉市文化活動センター 1F 事務室

議題

○報告事項 オーディション結果報告が次の通りありました。

- ・ザラストロ (バス) 渡邊寛智/王子タミーノ (テノール) 山本耕平/弁者 (バス) 西岡千秋
- ・第1の (テノール) 僧松本厚志/第2の僧 (バス) 山田康之/夜の女王 (ソプラノ) 松田千絵
- ・夜の女王の娘パミーナ (ソプラノ) 寺内智子/夜の女王の侍女 (ダーム1) (ソプラノ) 佐々木まゆみ
- ・夜の女王の侍女 (ダーム2) (ソプラノ) 鶴崎千晴/夜の女王の侍女 (ダーム3) (メゾ・ソプラノ) 塩崎めぐみ/鳥刺しパパゲーノ (バス) 吉田章一/老婆、後のパパゲーナ (ソプラノ) 野津美和子 (アンダー/高木歩)
- ・黒人のモノスタトス (テノール) 谷浩一郎/第1の童子 (ソプラノ) 小椋美香子/第2の童子 (ソプラノ) 小倉知子/第3の童子 (メゾ・ソプラノ) 米澤幸
- ・合唱 Sp 齊尾裕紀・高木歩・木下遼子/Alt 福島和恵・山根修子・森尚美/Ten 門脇慧/Bas 富堅全希

○協議事項

□平成26年度の取り組み

①とりアートオペラ公演「魔笛」啓発活動 県文連主催「芸術たのしみ広場」の支援体制について下記のようにお願いすることになりました。

運営 総括⇒計羽孝之 受付⇒尾坂俊恵 進行・ゲネプロ担当⇒生原清明 会計⇒鈴木百々子 映像 担当⇒西岡千秋 会場設営⇒西岡千秋(階段席の使用)

講座の中の演奏予定については提案通り承認されました。リハーサルについては、ソロは各自で行う。アンサンブルについては⇒ダームは鶴崎千晴氏をリーダーとして、調整する。クナーベは米澤幸氏をリーダーとして、調整する。事になりました。

日程 8/31 10:00~ 会場準備(役員集合)/ゲネプロ(ピアノ合わせ)順番については後日報告/機材設定

②平成27年5月10日(日)の「魔笛ガラコンサート」企画について、総合プロデューサーより提案され、次の様に了解されました。

・魔笛ガラコンサートは、会話部分をナレーションにした全曲の演奏。ただし合唱部分は割愛。歌唱言語はドイツ語。上演台本は、中村敬一氏が担当。ナレーターは西岡恵子氏。

・オーケストラ練習会については、担当者⇒井上拓也(山根修子)にて策定し、実施する。

・ソリスト及びアンサンブル練習会については、下記の通り。

ソロは自主練習。アンサンブルは別に設定する。また、通し練習会については、検討する。⇒西岡千秋

2015.3.中下旬⇒第一回ディクシオン研修会

2015.4.中下旬⇒第一回コレペティートル・レッスン

2015.4.下旬⇒オーケストラあわせ

5.9⇒ゲネプロ 倉吉未来中心大ホール

5.10⇒本公演 倉吉未来中心大ホール

・役員 チーフマネージャー⇒鈴木百々子 オーケストラ・マネージャー⇒山根修子

・予算については基本的に提案通り了解されました。ただし、入場料はアザレアのまち音楽祭への自主参加の形をとるため統一する。一律700円。チケットはとりアート・チケットを作成するが、アザレアのまち音楽祭共通券・パスカードの使用及び招待券利用を可とする。

③次年度事業計画の全体構想について総合プロデューサーの試案が提案され、次の点が確認されました。

- ・魔笛公演スタッフの未決定部署の決定⇒舞台監督については、演出の中村敬一氏とスタッフユニオンで相談して頂き、決定して頂く。舞台監督補も同様とする。地元舞台監督補として高木歩を起用する。副指揮者として新倉健氏、上萬雅洋氏に依頼する。合唱指揮者については、合唱団編成後に決定するが、渡邊寛智氏へ打診する。舞台助手については未定。踊り振付は御船みゆきを起用する。練習ピアニストについては、ピアノ指導者連盟及び鳥取オペラ協会ピアニストの中から起用する。オーケストラについては、アザレア室内オーケストラに依頼する。その練習プランは、オケ・マネージャーに一任する。合唱は、今年度中に編成する。オーディション合格者を中心として、依頼候補者名簿を作成し、依頼活動に入る。県内で人材が不足する場合は、別途の方法を検討する。担当は生原清明(及び西岡千秋) マネージャーについては、チーフマネージャーに鈴木百々子、ソリスト・マネージャーに吉田章一、合唱マネージャーに生原清明(西岡千秋)、舞台マネージャー⇒未定。オーケストラ・マネージャーに山根修子を起用する。
- ・魔笛公演リハーサル・スケジュールについては、中村敬一氏、及び松岡究氏と話しプランを策定する。⇒中村氏については西岡氏が担当。松岡氏については山根氏が担当。全体スケジュールのまとめは、西岡千秋氏が決定する⇒2015年6月をめどとする。

・予算書の検討については、次の様になりました。

(1) ソリストのギャランティ・ランクについては、役柄に応じたランク分けを中村敬一氏に依頼し、決定しました。また、ゲスト出演者に対する $+\alpha$ については、特別ギャラを設定しました。1案と2案を提案しましたが、他公演とのバランスをとって2案としました。ソリスト・ギャラの総額は1,950,000円で決着しました。また、チケット収入の見込み額を予算書に反映させた、全体予算となっているが、実施実態に即して伸縮可能な予算書とすることが了解されました。正式な予算書は、とりアート本部と相談し、決定するものとします。

#### ④次年度に向けての取り組み

- (1) ソリスト・ディクシオン研修会計画⇒2015年3月中旬⇒高折續に依頼することになりました。渉外は計羽孝之が行う。
- (2) とりアートメイン事業オペラ公演広報チラシ・ポスターの新作委嘱については、次年度に再検討することになりました。ただし、ガラコンサートについては、緊急性があるため計羽孝之がコーディネートすることになりました。
- (3) 2014年度予算執行について会計担当の鈴木氏より提案され、了解されました。
- (4) 今後の企画委員の仕事分担については、新年度に向けて検討することになりました。